

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すみれ遊湧				公表日	2025年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		指導室に加え2部屋使用できるスペースがあるので、クーリングダウンにも適応できる	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		適正の人員配置に加え、プログラムごとに専門の講師の先生をお招きしているので手厚く指導出来ている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・イベント時などは特にPDCA サイクルが機能している ・ミーティングで情報共有と今後の対策を行っている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングにて共有、協議している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		常勤、非常勤問わず日々の気づきは意見交換をしており、都度内容を検討し取り組んでいる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		第三者による外部評価を導入するか検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部の研修や部会などに参加している	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			現在、ホームページへ支援プログラムの掲載を業者に依頼中。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	日頃の様子や、成長過程の変化を保護者と面談等を行っていくことで、最新のニーズに合わせて改善している	利用回数の少ない児童や、よく欠席する児童については最新のニーズが把握しにくいので、保護者との連携が必要である
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		計画の作成においては職員全員でミーティングを行い、意見交換や情報の共有している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		時児童ごとの長期目標、短期目標を念頭に置き支援を行うよう職員間で声掛けを行いながら取り組んでいる	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		職員全員で内容について話し合いを重ね、各児童や家庭に必要と思われる項目を考え設定している	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			・児童ごとに合わせた療育内容を考え提供している ・活動内容を振り返り、改善をしながらブラッシュアップしている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			児童や保護者の意見を積極的に取り入れ、可能な限り柔軟に対応するよう心がけている
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			毎日ミーティングを行っていることに加え、伝達事項や変更事項等は社用携帯の共有ラインでリアルタイムに共有できるようにしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			日々の記録をとりながら情報共有や意見交換をしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			同上
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			保護者への聞き取りを元に職員全員でミーティングを行い、最新の情報で計画書の作成を行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			ホワイトボードに1日のプログラムと時間を明記することで児童の自主的な時間管理や、行動の管理を促している。 また、予定しているプログラムに対し、体調やメンタルの状況で参加できそうにないと児童本人が判断した場合は代替案を提供している
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			児童ごとによく理解している職員が参加するようにしている。また、児童の学年にもよるが、なるべくは児童と同性の職員が参加するようにしている（特に女子児童）
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		必要に応じて情報共有を行うが、あまり過去にケースがない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			以前は地域のこどもとも活動を一緒に行っていたが、近年は行っていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			部会等へ参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			送迎時や、日々のラインのやり取りでしっかりと共通理解できている
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			適宜保護者へは情報提供を行っている	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		電話やラインで悩み事や困っていることなどの相談をいただくことが多い。事業所としてできることは可能な範囲で協力体制をとっている。また、事業所では力がないなれない部分に関しては関係各所に相談し解決へのサポートをしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		6	現在、保護者会やきょうだい同士の交流の場の提供をごちらが用意することは行っていない	複数のご家庭からニーズがあれば検討する
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		保護者からの意見は随時お聞きしており、適宜可能な限りの対応を迅速に行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		ホームページで定期的にブログの更新を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		隣接する高齢者デイサービスの利用者様など、不定期ではあるが交流の機会を作っている	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルは作成し誰でも閲覧できるように配置してある	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		面談の時に確認している	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		面談の時に保護者に確認をし、指示がある場合は指示通り対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		安全計画について、より保護者への周知を強化していく
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事案は記録し、共有して対策を検討するようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			